

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回の研究では、高度な医療の提供を安全に実現するための御献体を使用した手術手技研究、解剖学的な検討、新たな手術器具の開発を行います。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、研究をさせて頂くことにご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

御遺体を用いた四肢関節、筋・靱帯組織の解剖学的、力学的測定および手術手技研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 整形外科

【研究責任者】 木下 智文

(愛媛大学医学部附属病院 整形外科 医員)

【研究の目的】

整形外科領域における医療技術の進歩は目覚ましく、精度の高い手術を提供するために、我々医療者は常に解剖学的知識を深め、技術を磨き続ける必要があります。

本研究の目的は、安全な手術の実現、手術の質のさらなる向上のために御遺体の四肢関節を用いた手術手技研究を行います。近年では、VR（バーチャルリアリティ）の技術を利用した手術シミュレーションも注目を集めていますが、実際に御献体を用いた手術研究は、得られる情報、実臨床への再現性ともに極めて高く、手術技術における新たな知見を得る上で有益なものであります。

今回の研究内容としましては、新たな解剖学的知見の追求、新たな手術手技・手術器具（人工関節など）の実臨床への応用を目的として行われます。さらに御献体を用いて実際の手術を行い、その関節動態を評価することで現行の手術手技、インプラントの改良も行います。そして新しい術式や手術器具を開発するにあたり、組織の形状・形態学的な検討に加え、力学的な強度の調査を行います。

【研究の方法】

(対象となる患者さん) 愛媛大学白菊会の会員の方で臨床研究に同意を頂いている方を対象としています。

(利用する情報、資料) 性別、年齢、死亡時期、四肢関節・筋・靱帯組織の形態学的評価、解剖学的評価、力学的評価、バイオメカニクス (生体力学) 評価により得られた情報を活用し研究をすすめます。

研究例：人工膝関節全置換術における大腿骨・脛骨骨切り量と軟部組織解離が術後膝関節安定性へ与える影響の検討

人工膝関節置換術において必要以上の骨切り、靱帯・軟部組織の解離は術後膝関節の不安定性を引き起こします。近年 **Navigation system** というコンピューター技術を利用して関節の動態解析を行うことが可能となり、その技術を利用して、手術手技が関節の安定性に与える影響につき研究し、術後成績の向上に繋がる安定した膝関節を形成するために望ましい手術技術の探求を行います。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

愛媛大学医学部附属病院 整形外科 木下 智文

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 整形外科 木下 智文

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5343